

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん



2023年度 年主題〈ともにつむぎだす〜希望の中で〜〉

0・1・2歳児 4月主題 「はじめまして」「であう」
 月のねがい
 ◎神さまからお預かりしている大切な存在として生まれる。
 ◎はじめての場所や人と出あう。
 ◎春のひざしや風に心地良さを感じる。
 ◎であいやつながらの中で安心して過ごす。
 ◎春の自然にであって喜ぶ。

3・4・5歳児 4月主題 「よろしくね」
 月のねがい
 ◎神さまの愛に包まれていることを感じながら、安心して新しい生活を始める。
 ◎であいへの期待、不安などありのままの姿が受け止められ、好きな遊び、場所、人を見つける。
 ◎自分が大切にされていることを感じて安心する。

はじめまして よろしくね!

新しいお友だちも加わって、いよいよ新年度がスタートです！
 3月後半は進級移行に向けて、午前中は新しい部屋で過ごしました。部屋には今まで違う玩具に目がキラキラ☆！憧れの2階の部屋にウキウキ・ワクワクしながら過ごしていました。いよいよ新学期の1日が始まると、カラ・帽子の色を強調するかのように先生たちの前を歩いたり(笑)、自分が過ごしていた部屋を覗いたり、嬉しさとちょっと不安とが入り混じっている子どもたちの姿が見られます。
 キリスト教保育には、年主題と年齢ごとに毎月の主題・ねがいがあります。私たちは、毎月の主題・ねがいを心にとめながら保育を組み立てています。4月は、初めての場所と人に会って『はじめまして』。出会いの中で安心して過ごせるようになると、春の自然に『であう(であう)』。ありのままの姿が受け止められ、好きなあそびや場所・人を見つけて『よろしくね』。初めて場所、先生、お部屋、と何もかもが『はじめまして』の子どもたちです。その中で様々なものに出会い、その時の一つ一つの表情や気持ちを保育者がしっかり受け止めていくことで、“遊びが楽しい” “友だちと一緒に楽しい” など、園での楽しみがたくさん見つかるようになっていきます。
 新年度がスタートし、新しい環境で過ごしている子どもたち。嬉しい気持ち、不安な気持ちと、それぞれの子どもの気持ちに寄り添いながら過ごしていきたいです。また、新しい環境に疲れも見えてくるかもしれませんが、毎日のご褒美として、「頑張ってるね」と抱きしめてあげてもらえたらと思います。きっとそのパワーで、子どもたちもホッとすることだと思います。
 今年度も子どもたちの成長や様々な表情が見られることを職員一同で楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひします。
 伊豆元

今月の聖句 「わたしは よみがえりです。いのちです。」

ヨハネ 11:25

WBCで侍ジャパンが見事優勝の栄冠に輝きました。二刀流大谷翔平選手をはじめ、選手一人ひとりの活躍に私たちは感動を覚えました。それは国家の枠を超えて、世界に「野球」の素晴らしさを広めました。準決勝後の会見で、栗山監督が放った「野球っておげえな」という言葉の中にそれが集約されていると思いました。
 栗山監督は、不振の続いていた村上宗隆選手を使い続けました。「私は村上を信じる」と言った言葉が印象に残りました。と同時に、信じるということ、とてもエネルギーのいる、骨の折れる心の作業でもあると思います。けれども、だからこそ、信じるということに価値があります。準決勝9回裏、打席が巡ってきた村上選手のもとに城石コーチが近づきました。村上選手の脳裏には「バントか?」「代打か?」という思いがよぎったそうです。けれどもコーチが伝えたのは、監督の「思い切っっていい!」という言葉でした。すると、村上選手はスイッチが入り、見事センターオーバーの逆転ヒットを打ちました。監督が自分のことを信じてくれたことを意気に感じ、その期待に応えたのです。
 子どもたちにとって、親は最後まで自分のことを信じてくれる存在です。最後の砦です。成長する過程で人間関係にもまれ、嫌な経験をしながらも、自分を信用してくれている親を支えに生き生きと前を向いて歩けるようになります。信頼関係は人を大きく成長させるエネルギーとなります。そして、そこに活気溢れるいのちが生まれます。
 西之表基督教会 協力牧師 池田基宣



4月の行事予定

1日(土)	入園式・新年度クラス会
10日(月)	始園式(1号午前保育)
~14日	1号新入園児慣らし保育
15日(土)	親子遠足
27日(木)	誕生会(2才以上4月生)

5月の行事予定

6日~13日	家庭訪問(3才以上)
18日(木)	誕生会(2才以上5月生)
20日(土)	めぐみ誕生会(4~6月)
22~24日	フリー参観(3才以上児)
22~26日	給食試食会(3才以上児)

空気
お母さんは
きれいな空気のように
やさしい愛を
一日じゅう注いでいる
こどもは
あたたかい空気のように
うれしい愛を
一日じゅう吸っている
どちらも気がつかずに

河野進



希望の中で ともに紡ぎ出す

心地よい春風が、コデマリや可憐なパンジーの花をそよがせています。木々や花々や遊具、そして園舎までもが、愛らしい子どもたちが来るのを楽しみにしているようです。改めて園舎まで、愛らしいご入園、ご進級おめでとうございます。改めて新しく縁と新しい縁を心から感謝致します。子どもたちの健やかな育ちを皆さまと共に願ひ、祈りを重ねてまいります。

幼児教育・保育の指針となる幼保連携型認定こども園保育要領も平成三十年に改訂・施行されてから五年が過ぎました。その基盤となる概念は、目に見える、分かりやすい(認知的)能力を促進していくことより、子どもの気持ちや意欲など、実態を掴みにくい能力(非認知的)を重視する方向にあります。まさにキリスト教保育が大切に受け継いできた「見えないものに目を注ぐ」保育そのものではないかと思えます。本年度のキリスト教保育の年間主題は、「ともにつむぎだす」希望の中で」が示されました。「つむぎ」は、綿や糸、繭からよりをかける糸にする作業のこと。色々な要素が相まって新しいものに生成されるという意味において、コロナ禍を通して変化をしながら、希望を持つ者でありたいと思います。

本学園の建学の精神である「敬神愛人」「探求・感謝」には、人間形成の基礎を培うべく心を育てたいという願いが込められています。遠い将来の準備ではなく、幼いときにこそ経験しなければならぬものがあるのではないのでしょうか。子どもたちが自分で発見するモノや動植物たち。考えながら創り出していく遊びの数々。不思議だなど感じることも。明日もまたやりたいという意欲や探究心を何よりも私たちは守らなければなりません。そのために、保護者の皆さんにも、多くの場面で楽しんで関わっていただきたいと願っています。子どもの育ちには、「タイケン・タンケン・タイケン」が必要だと考えています。保育活動や行事で味わう体験。未知の世界へ興味・関心を寄せる探検。そして、少し大変なことにも挑戦する意欲。今年もこのキャッチフレーズとともに育つてまいります。

集団生活を初めて経験する子どもたちにとって、園生活は期待と不安の混じったものでしょう。初めての環境は大人でも緊張します。何より「だじょうぶだよ!」という言葉が安心へと導きます。「わたしは見えるものは過ぎ去りませんが、見えないものは永遠に存続するからです。」と聖書にあります。神さまが与えて下さるこの環境の中で、ともにつむぎだしながら生かされていることを喜べる生活を共に目指していきます。あるがままの「自分」をしっかりと生きていけるよう祈りつつ、保護者の皆様と心を込めて寄り添っていきたく思います。十六年目を迎える本年度も、職員一同心を尽くして努力して参りますので、ご支援の程を宜しくお願ひいたします。

学園長

令和5年度新学期がスタートしました!

私たちが保育の中で大切にしたいもの

☆一人ひとりを大切に

子どもたちは神さまから命を与えられ、愛されているかけがえのない存在です。その個性と人格をありのまま受け止め、尊重することが第一歩です。信頼関係を築くなかで、子ども自身が自分を信じ、自分らしい歩みをはじめることが出来るように、絶えず応援したいと思ひます。

☆知りたひ、やってみたひ!!

子どもが夢中になって、生き生きと遊ぶ事は“生きる力”に繋がります。工夫したり、悩んだり、納得するまで繰り返す中で、思考力や騒動力そして、“意志”が育まれます。好奇心や探究心を大切に受け止め、子どもと共に心を動かしていきたいと思ひます。

☆友だちっていいな!

友だちと遊ぶなかで、子どもは自分と他者の違いを知っていきます。たくさんのぶつかり合いや葛藤を通して、悩み、考え、やがて理解し合い、共に生きる”ことを学んでいきます。認め合い、力を合わせるこの楽しさ、喜びを味わうまでの道筋を大切にしたいと思ひます。

☆神さまの恵みを知り、世界に目を向ける

自然の美しさや不思議さに気づき、その恵みに感謝する心を育みます。けれども、世界に目を向けるときは、現実には人と自然との関係や、国と国との関係に多くの課題があります。人と自然との調和、世界の平和に、私たちがどう貢献できるのか、共に考え、祈り、やがて行動できる人になりたいと思ひます。

この花のように 美しい心を
 神さまください 小さなわたしにも
 この花のように 人々を愛せる
 心を下さい 小さなわたしにも
 幼児賛美歌Ⅱより